

# 「沖縄の負担軽減」は口実

## 目的は相互運用、良好な基盤活用

昨年8月、普天間基地（沖縄県宜野湾市）所属の垂直離着陸機MV22オスプレイが参加して北海道で行われた日米共同訓練「ノサンヴァイパー」（NV）に関する防衛省の内部資料で、訓練目的として自衛隊と米軍との「相互運用性の向上」などをあげる一方、「沖縄の負担軽減」にかかわる記述がないことがわかりました。自衛隊と米軍は沖縄の「負担軽減」を口実に共同訓練拡大を進めてきましたが、その本当の狙いが浮き彫りになった形です。

日本共産党の紙智子参院議員は「相互運用性の向上を図る」とともに、即応機動する陸上自衛隊の構築に資する「機が初参加▽国内で初めて米海兵隊が「高機動ロケットシステム」の射撃を実施」をあげました。

また、「検討・処置を要する事項」として「オスプレイ運用に対する地元自治体関係者等の理解獲得の必要に拡大されます」

さらに、新たに矢野別演習場がオスプレイの訓練予定地に加わり、昨年計画された北海道大演習場と上富良野演習場と合わせて3カ所に拡大されます。

# 北海道での日米共同演習

## 国内における米海兵隊との実動訓練（ノサンヴァイパー（NV））の概要

目的	陸上自衛隊及び米海兵隊の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、日米共同による諸職種協同作戦を実施する場合における相互連携要領を、北海道の良好な訓練基盤を活用して、実行動（海軍艦隊含む。）により訓練し、相互運用性の向上を図るとともに、即応機動する陸上自衛隊の構築に資する。	訓練種別	スプレイ
参加部隊	○ MV-22 が参加するの ○ 国内で初め	訓練種別	
実施時期	平成29年8月	別紙第2「29NV全般業務予定表」	
実施場所	北海道大演習場 訓練地		空自千

昨年8月にも、島山和也前衆議院議員とともに防衛省に対して「オスプレイの墜落事故の原因究明もされないまま訓練や訓練強化、軍事基地化は認められないと抗議しました。その反省もなく、訓練を強行することは許されません。

これまで「沖縄の負担軽減」を理由に訓練を行ってきましたが、

が、防衛省の資料で、まさに米軍との共同訓練の強化を狙っていることが明らかになりました。しかも、訓練は昨年よりも大幅に拡大され、オスプレイの整備拠点を帯広駐屯地にすべくしています。すでに「北朝鮮脅威」の根拠も崩れました。全国のたまたかいと連帯し共闘を強め訓練中止に追い込みたい。

## 全国と連帯し中止めざす

紙 智子 参院議員



昨年8月にも、島山和也前衆議院議員とともに防衛省に対して「オスプレイの墜落事故の原因究明もされないまま訓練や訓練強化、軍事基地化は認められないと抗議しました。その反省もなく、訓練を強行することは許されません。

これまで「沖縄の負担軽減」を理由に訓練を行ってきましたが、

が、防衛省の資料で、まさに米軍との共同訓練の強化を狙っていることが明らかになりました。しかも、訓練は昨年よりも大幅に拡大され、オスプレイの整備拠点を帯広駐屯地にすべくしています。すでに「北朝鮮脅威」の根拠も崩れました。全国のたまたかいと連帯し共闘を強め訓練中止に追い込みたい。